



堀場製作所OB会

会報

通巻52号

発酵日 令和6年1月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 沢本 昌順

	ページ		ページ
◆2023年第28期年次総会	2	・釣りクラブ	11
・第28期 年次総会概要	2	・カラオケクラブ	12
・28期 年次総会概要《東京支部》	4	・ゴルフクラブ	12
・会社近況報告	4	・ボウリングクラブ	13
・年次総会・懇親会	7		
◆HOVC活動 ボランティア部会	8	◆2023年会社ニュース ピックアップ	14
・工房学習活動	8		
・鴨川クリーンハイク	8	◆OB会だより	15
・祇園祭ごみゼロ大作戦	8	・ホームページの紹介	15
・オオバナミズキンバイ駆除大作戦	8	・寄稿について	15
◆行事報告	9	・新入会員紹介	15
・懇親会	9	・古希紹介	15
◆レジャー例会	10	・訃報	16
・今城塚古墳	10	・年間行事計画について	16
・サントリー京都ビール工場	10	・OB会入会手続きについて	16
◆クラブ活動報告	10	・OB会員の皆様へ	16
・山遊会	10	◆編集後記	16



上賀茂神社

正式名称は賀茂別雷神社（かもわけいかづちじんじや）。通称、上賀茂神社。京都最古の歴史のある神社で、

創建は677年と言われている。ユネスコの世界遺産に「古都京都の文化財」の1つとして登録されている。主な行事としては、5月5日に賀茂競馬（くらべうま）、5月15日に、京都三大祭りである葵祭、他には賀茂曲水宴（4月第二日曜）や鳥相撲（9月9日）の行事があります。また、手作り市やコンサートも開かれています。年中多くの行事がある神社です。桜の季節には、「斎王桜」、「御所桜」、「みあれ桜」などの銘木があります。「みあれ桜」はJR東海のポスターになりました。3月下旬から4月中旬頃まで、さまざまな桜を長期にわたって楽しむことができます。紅葉の季節には、二の鳥居やならの小川、渉溪園など、モミジが真っ赤に染まる景観が素晴らしいです。日常、何気なく通り過ぎていますが、改めて見ると、見どころ一杯の神社でした。（三橋 泰夫記）

第28期 年次総会概要

11月13日(月)、午後1時から本社講堂で開催。
第1部は、元京都市動物園飼育係の高橋 鉄雄様による講演「飼育係こぼれ話」で始まりました。



以下、第2部の要旨



1. 第27期活動報告

◆ボランティア活動の維持・継続

- ◎京都マラソンの交通整理 実施(2月19日)
- ◎桂川流域クリーン大作戦 実施(2月26日)
- ◎鴨川茶店 実施(4月8日 & 9日)
- ◎鴨川納涼 (京都府職員のみで実施)
- ◎鴨川クリーンハイク
実施(4月29日、6月4日&9月3日)
- ◎祇園祭ごみゼロ大作戦 実施(7月15日)

◆キャリア活動(HOVC)の継続

- ◎生き方探求館・工作学習支援活動 実施(5月12日、6月9日、9月15日、10月5日)

■恒例行事

- ◎春の懇親会・・・4月22日 がんこ高瀬川
- ◎レジャー例会・・・6月17日 高槻・今城塚古墳
9月 8日 サントリービール工場
- ◎HORIBA ファーム・・・OB会主催では実施せず
- ◎一泊研修旅行・・・3月18～19日山代温泉、金沢
- ◎秋の懇親会・・・9月16日 がんこ高瀬川

◆行事の参加者数の増加に注力

- ◎秋の懇親会の参加者は 38名
- ◎総会 堀場製作所総務部様の御厚意により、今年度も、テレビ会議システムにより、東京支部等もリモートでの参加が可能になりました。皆様のご協力に感謝します。

■新入会員を増やす活動

★今期も、定年退職者説明会での勧誘

- ①退職者は全員参加を前提とする。
- ②説明会で、入会申込書を記入し、入会した方は
初年度の年会費はゼロにさせていただきます。
- ③結果として、第27期中の入会者数は 計12名
皆様のご協力に感謝します(会員数285名)。

定年年齢の変更(60歳から65歳へ)5年間で延長

第27期 クラブ活動報告

《クラブ名》	《部長》	《概要》
◎山遊会	下川氏	山行4回実施
◎釣り	調子氏	例会釣行
◎フォトクラブ	笠川氏	実施なし
◎グランドゴルフ	森山氏	実施なし
◎囲碁	中村(正)氏	例会囲碁2回
◎TCC	石川氏	見学2回実施
◎ゴルフ	三好氏	12回コンペ実施
◎ボウリング	毛利氏	月例会12回
◎カラオケ	小川氏	月例会6回実施

2. 第28期 活動計画案

■運営方針：キャリアを活かして社会貢献を強化

◆堀場グループ各社のOB会との交流

■ 定例行事：

- 懇親会・・・・・・・・・・年2回を予定
- レジャー例会・・・・・・・・1回目6月22日を予定
- 一泊研修旅行・・・・・3月17-18日を予定
- HORIBA ファーム・・・ブルーベリー・綿花摘み等
- キャリア・ボランティア部会(=HOVC)
- ◆生き方探求館への京モノレジャー活動
- ◎「世界に一つの温度計」に次ぐ「新テーマ」への挑戦(今年も続く！)

■ クラブ活動

- ◆芸術分野のクラブの発足をサポートします。
どなたか、イニシアティブを発揮してください。

- ◆活動の活性化を図る。

- HOCOM行事に積極的参加。

- ◆新規企画について、対応を。

- 東京支部との交流の活性化。

- グループOB会との連携の実施。

- 一般会務

- ◆幹事に女性と65歳以下の男性を加えて、活動の幅を広げ、世代交代の準備。

- ◆会員の増加に向けて努力する。

☆女性会員の増加。

- ◆各行事への会員の参加人数を増加。

- ◆会報とホームページの積極的運用。

☆投稿者には、QUOカード等の検討。

- ◆グループ各社OB会との交流・連携。

- ◆定例会社連絡会議の継続的開催。

第28期 クラブ活動計画案

《クラブ名》	《部長》	《会員数》	《概要》
◎山遊会	下川氏	11名	山行5回
◎釣り	調子氏	7名	年間6-7回
◎フォトクラブ	笠川氏	5名	撮影会、作品展
◎グランドゴルフ	森山氏	7名	休会
◎囲碁	中村正氏	6名	例会囲碁2回
◎TCC	石川氏	6名	美術館特別展等
◎ゴルフ	三好氏	30名	2回実施
◎ボウリング	毛利氏	15名	月例会12回
◎カラオケ	小川氏	17名	6回月例会

第28期 会員・幹事体制

- ◆会員数 令和5年10月1日現在 285名

- ◆代表幹事 酒井 俊英

- ◆副代表幹事 小川 枢幸

岡田 知二(KSVU 事務局長)

- ◆幹事 石川 達夫(東京支部長)、笠川 重美、沢本 昌順、中井 和美、平野 彰弘(会計)、三橋 泰夫、横浜 正樹(東京会計)

- ◆会計監査 湯浅 一郎
和田 晃一(堀場製作所)

- ◆退任 森山 晶成、伊藤 哲

以上の第27活動報告、同会計監査結果、第28期活動計画・予算案等が承認された。



第28期 年次総会概要 《東京支部》

堀場製作所 OB 会 第28期年次総会は、昨年に引き続き Teams によるリモート参加が可能となり、東京支部メンバー9名が参加しました。TSO には、龍さん、大道寺さん、新井さん、佐藤さん、横山さん、大石さん、加藤さん、石川が集まり、総務部支店アドミチームのご協力をいただき、プレミアムホール B で参加、横浜さんはご都合によりご自宅から参加されました。リモート参加は、京都まで移動の時間が必要なく、交通費等の経済的負担もなく、リアルタイムで、京都で聴講されている方と全く同様に東京でも聴講できるメリットが多い方式です。画面を通して発表者の表情も確認できますので、対面方式にはかないませんが、それでも多くの情報が伝わってきます。今回も前回同様発表者の思いまで感じ取ることができました。久しぶりに TSO へお越しいただいたメンバーの皆様は、休憩時間に現役社員との交流も行うことができ、現役社員からは、“懐かしい方々にお会いできて楽しいひと時でした”との感想もいただきました。その点で

は、対面でのコミュニケーションの大切さも改めて認識しました。DX を活用したリモート会議でも、懇親会に京都で参加するのと同様な体験をすることは、まだできません。東京地区開催の規模はまだ小さいですが、メリットの多いリモートでの年次総会、素晴らしい対面でのコミュニケーションの取れる東京地区懇親会、次回は規模を大きくしていきたいと思います。今回残念ながらご参加されなかった東京支部のメンバーの皆様も、次回は TSO での開催にご参加いただけますと幸いです。

(石川 達夫 記)



会社近況報告



1. HORIBA グループ状況報告

全体として、

- ・半導体がスローダウン。
- ・海外ドルベースでの業績はそれほど下がってはいない。

- ・自動車がどうなのか、なかなか見通せない。
- ・電動化が進み、排ガスを中心とする投資がなくなってきた。
- ・EU にて EURO7 という排ガス規制が来るはずが、厳しすぎるということで、自動車メーカーの投資意欲が急にさめてきた。
- ・したがって、自動車事業が混んとしてきた。
- ・EV 電気自動車関連の投資は電池が盛んだが、EV が一巡した感がある。
- ・堀場の売上は、初めて第3四半期におきまして 2000 億円を越えた。

2. 2023 年 12 月上旬決算概要

2-1. 2023 年 12 月上旬の振り返り

- ・半導体市場がなかなか戻って来ない。
- ・半導体の市場には CPU・ロジック、メモリパワー半導体がある。
- ・エステックが伸びたのは、NAND フラッシュ、フラッシュメモリの需要に支えられたため、今は、NAND フラッシュが頭打ち、代わって指紋認証用途

などの半導体が好調。

- ・新しいエネルギーとして、水素、アンモニアに関心がある。
- ・水素を作るというビジネスが盛ん（水電解装置）。
- ・ライフサイエンスでは、DNA の解析が進み、堀場の使われる技術も増えてきた。
- ・堀場では、5 つのセグメントで行ってきたが、次の中長期計画では3つフィールドとする。
- ・エネルギーとエンバイロメント (Energy & Environment)。
- ・メディカルとライフサイエンス (Bio & Healthcare)。
- ・半導体とマテリアル (Material & Semiconductor)。

2-2. 2023 年 12 月上旬連結実績

上期実績売上高 1311 億円、経常利益 181 億、過去最高。

- ・ホリバマイラの一部事業の売却。

売却先は、イタリアのイベコディフェンスビークル (Iveco Defense Vehicles)。経常利益を大きく押し上げた。

3. 2023 年 12 月期上期連結実績（セグメント別）

- ・自動車：赤字状態である

その中でも MEXA は高い利益率確保している。過去には、ピーク時には 400 台だが現在は 150 台。MEXA-9000 のピーク 120 台であったので、過去に戻った感がある。

新規事業の水素、オートメーション、ドイツのメカトロが足を引っ張っている。

- ・医用：過去には、10 年前、20 年前は非常に利益率が高かった。血球カウンタは中国との価格競争の時代になってきた。
- ・半導体：分光器の市場が縮小。
- ・科学：利益率低下。

4. 2023 年 12 月期上期連結実績 (B/S,CF)

B/S は資産が非常にふくらんできた。現金をもちすぎと投資家から言われている。ここ 10 年間、半導体の利益は大きかったが、次の投資に回せなかった。

5. HORIBA から見た市場環境の想定

- ・全体：自動車は排ガス規制が遅れるので厳しい。新しいエネルギーの部分は良好。
- ・環境：ENDA は事業からみんなが撤退し、残り利益に預かった。今後何を柱にするかを考えていかなければ

ならない。

6. 2023 年 12 月期連結業績予想

今年 (2023 年) で終わる中長期計画、目標、売上 3000 億、営業利益 400 億、に対し、売上 2840 億円、営業利益 430 億円と目標達成した。

7. 2023 年 12 月期連結業績予想（セグメント別）

- ・自動車は何とかして、黒字に持ってくるのが精いっぱい。半導体頼りがなかなか脱せない。堀場の株は PBR(1 株当たり純資産) 1.2 ぐらい。われわれは株価が低いというのが投資家から評価。低いからこそ、株価が上がる可能性がある。株価は 2 万円ぐらい適正な価格なのでは。それに対していろいろな課題の取り組み。
- ・自動車の落ち込み
- ・医用の課題

8. セグメント別詳細説明

8-1. 2023 年上期実績／通期予想、自動車

排ガスの客層が、自動車メーカーから、サプライヤー（例えばデンソーなど）へ移行。排ガス市場のメインが、西ヨーロッパ、北米、日本から東南アジア、東ヨーロッパ、南米に移行。西ヨーロッパ、ドイツ、フランスなどは、最新の EV の研究をする部門。中国は、新しいことをやりつつ、古い技術も踏襲する。電動化の課題としては大型への適用。この部分は燃料電池とか水素とかに移行と考えられる。排ガス規制に関しては、EURO7 が遅れるだろうという予想

8-2. 2023 年上期実績／通期予想、環境

環境は半導体の工場が使う特殊なガスが伸びている。発電所・工場から半導体工場にシフト。具体的には東京電力からサムソンなどにシフト。

8-3. 2023 年上期実績／通期予想、医用

医用については、なかなか難しい状況。シーメンス向け血球装置が伸びているが、中国企業との競争になっている。堀場は血球以外に生化学に力を入れようとしている。生化学については他社の OEM となる。試薬にて商売する。

8-4. 2023 年上期実績／通期予想、半導体

半導体については、ロジック ○、パワー IC ○、DRAM ×→○、NAND ×

この混在が半導体の状況。フラッシュメモリの技術が堀場を引っばってきた技術だが、今後、堀場がどんな

会社近況報告（つづき）

風なプレイヤーになれるかが、今後のキーになる。



8－5. 2023 年上期実績／通期予想、科学

ライフサイエンスにどう関与するかがキーとなる。対象は今まで研究室用だったが工場にどう技術を展開するか。半導体に関しては、2 ナノプロセスにおいて絶縁材料がキーとなる。科学が先端材料、半導体業界、医用、製薬といろいろつながり、工場への進出がわれわれのアプローチ。

9. 注力市場での取組を加速～MLMAP2023 最終年 3つのフィールド

○「エネルギー & エンバイロメント (Energy & Environment)」

○「バイオ&ヘルスケア(Bio & Healthcare)」

○「マテリアルと半導体(Material & Semiconductor)」
にて、来年からの中長期計画をすすめて行きたい。

9－1. <Energy & Environment> 水素ビジネスの展開

New エネルギーとして、水素に対し、どうアプローチするか。

9－2. <Energy & Environment> グローバル連携加速

グループのオペレーションとして、ドイツのフューエルコンへの工場支援。燃料電池に関して、テストステーションのステランテスとの連携。

9－3. <Energy & Environment> Conventional Energy

排ガス EURO7 対応。水質において、ドイツの TOC 計事業会社 (Tocadero) の買収。UV のスペクトロメータのテシス (TETHYS) の買収。

9－4. <Energy & Environment> 水質計測システムの技術力、ラインアップ強化

科学の技術の pH、電極、導電率から、新しいものを創り出す水質分野の強化。

9－5. <Bio & Healthcare> 医用機器 新総合保守サービス支援

バイオ、ヘルスケアについては、フクダさんとで、堀場 Mediside Linkage の推進。

9－6. <Bio & Healthcare> 医用機器 血液分析装置の試薬チップ生産増強

ロームからの微量血液検査装置「バナリスト」の移転。

9－7. <Materials & Semiconductor> 高品質な連続生産実績に貢献

ONLINE 薄膜計測器の開発。

9－8. <Materials & Semiconductor>半導体分野への積極的投資

PD 装置の拡大。インドでマスフローの生産の立上げ（人工ダイヤモンド業界）。

10. 学術、政府連携で次世代のエコシステム創出をリード

今年、齊藤氏は JEMIMA の会長、足立氏は JAIMA の会長を務める。

11. 産業プロセスモニタリング技術を強化

Process Instruments Inc を買収。

12. 半導体事業の研究開発拠点を増設

福知山のホリバエステックの拡張。

13. 株主還元政策

今年の配当は 255 円を 260 円に増配。堀場グループ内にはたくさんの技術がある。

14. 質疑応答

14－1. 堀場中国における産業界、政府での評価は、中国は当初工場機能として、MEXA フィルタ、SLFA セルなど、日本向けのための生産を

行っていたが、今後は、ホリバチャイナでは、中国市場のためにオペレーションをする。

開発機能も増やし、中国製品を中国で開発していく。

年次総会・懇親会

年次総会に引き続いて懇親会が開催されました。皆さん、お元気で再開、近況報告など各自思い思いに挨拶、歓喜の輪が広がりました。



源田さんの中締めにて
お開きとなりました。

————— 東京支部の会場より —————



東京支部では総会終了後、6名で懇親会を開催。お茶の水駅近くの居酒屋で、プレミアムモルツ・焼酎を、焼き鳥・鳥料理とともに堪能しました。昔の思い出話に花が咲き、さらに第三部の代表取締役副会長兼グループ COO 齊藤 壽一様の会社の近況報告をもとに、堀場製作所の将来に関しても、皆様熱い思いを語り合い、大いに盛り上がりました。（石川 達夫 記）

◆HOVC活動 ボランティア部会

工房学習活動

12月13日に「京モノレンジャー」活動へ行ってきました。OB会から、森山、北川、石黒、沢本、笠川の5名で行ってきました。今回は凌風小中学校の4年生の皆さんでした(38名+37名)。身近な「はかる」をテーマにて解りやすくセンサーを解説され、そして「世界に一つの温度計」(組立キット)の組立指導となりました。皆さん組み立て方の説明を聞きながら作業され、全員無事に完成。できた温度計に電池を接続してスイッチを入れるとLEDが点灯、一斉に歓声がありました。早速作った温度計で水道水や、冷却スプレー・ヘヤードライヤーなどを使って、冷たい(青色)、普通(黄色)、暖かい(赤色)とLEDが点灯することを実験されました。温度計の組み立てキットは、堀場製作所から提供されるプリント基板に温度センサー等をホッチキスで配線する構造です。大変に良くできていますので、今後も「京モノレンジャー」で活躍していきたいと思っています。(笠川 重美 記)



鴨川クリーンハイク

11月5日(日)今年最後第4回クリーンハイクに、中村(正)、岡田、小川3名参加となりました。今回は、北山大橋～御園橋～北山大橋のコースで、夏のように暑い晴天の日で、家族連れやウォーキング等で河川敷には多くの人が楽しんでました。マナーが良いのか肝心のゴミは少なく、少し物足りないハイクとなりました。

(小川 榎幸 記)

祇園祭ごみゼロ大作戦

祇園祭ごみゼロ大作戦は、2014年よりはじまり10年目となりました。ボランティアの皆さんとリユース食器を活用しごみ減量方策にてごみ減量に成功している活動で、今年は門川京都市長の出陣式にも参加できました。堀場OB会から6名で活動してきました(酒井、小川、北川、中村(正)、宮下、笠川)。東洞院通りにある御射山公園に19時に集合し、出陣式に参加しボランティアメンバーと記念撮影し活動開始。私たちの担当する、ゴミステーションは御池烏丸通りの(31A)で、20時から22時までを担当しました。烏丸通りの両端には屋台がつながり、人、人、人でした。ゴミステーションの前には、たこ焼きと焼きそばの屋台があり、長蛇の列ができていました。今年も浴衣姿の外国の方と思われる人も多く見かけました。

(笠川 重美 記)。



オオバナミズキンバイ駆除大作戦

7月2日(日)梅雨の晴れ間に猛暑の中で開催されました。明らかに昨年より増えている様です。何か良い方法が無いのか!

(酒井 俊英 記)



◆行事報告

懇親会

2023年9月16日高瀬川源流庭苑があるがんこ高瀬川二条苑で、OB会恒例の懇親会を開催しました。小川幹事の司会で始まり、山下執行役員より挨拶と堀場の近況報告を頂きました。今回も最新の近況報告や現役時代の逸話や苦勞話し等で話題が尽きず、あっという間に2時間がすぎました。参加者は37名でした。

小川 枢幸 記)



◆レジャー例会

今城塚古墳

2023年6月17日(土)高槻市にいくつも存在する古墳の中で、一般人の立ち入りが可能で資料館もある今城塚古墳へ行きました。長さ190メートルと近辺では最大級の前方後円墳で、二重の濠もありました。2班に分かれ、資料館と古墳公園の説明を受けました。私は古墳公園の方へ行き、発掘の様子や埴輪の説明を受け、その後に前方後円墳の頂上も見学しました。昼食は、近隣にある安満遺跡公園内のファーマーズクラブで行いました。高槻という近いところに古墳が多くあるのは新しい発見でした。古代のロマンを感じるレジャー会でした。(三橋 泰夫 記)



サントリー京都 ビール工場

2023年9月8日(金)レジャー例会として、サントリー京都のビール工場へ行きました。JR長岡京駅に10時45分集合、そこからシャトルバスでサントリー京都工場へ、受付を済ませたあと、会社案内のビデオを視聴、ビール工場へ行きました。ビールの原料の説明、数々の映像の中を通り、仕込み工程、発酵工程、パイプラインを見て、搬出場所でビールが積まれていく様子をバスの車窓から見学しました。そして試飲会場へ行きました。最初に、プレミアムモルツが出て味わい、次にプレミアムモルツ・香るエール・マスタードリーの飲み比べの試飲、そして最後には、これら良かったと思うビールを再度飲むといった試飲の内容でした。出席者の中で香るエール、マスタードリーに半々ぐらいに人気がありました。昼食はサントリー京都すぐ近くの古都久で取りました。昼食後解散し、最寄り駅まで距離があったため、バスで帰ったもの、長岡京駅まで歩いたものと別れ、全員ほろ酔い気分を楽しみました。(三橋 泰夫 記)



◆クラブ活動報告

山遊会

年月日 令和5年11月18日(土) 晴
 山行先 阿武山 (281.1+m)
 参加者 丸山 博 中村 正博 宇野 久二男
 下川 和子 下川 博司

JR京都駅ホーム8時20分集合、29分発新快速姫路行きに乗り、高槻駅乗り換えで摂津富田駅8時49分到着。

9時発の高槻市営バス91系統で消防署前9時14分下車。

昨夜来の雨が午前中残るのではと懸念されたがその

心配はなさそうだ。

奈佐原の新興住宅街の北側の道を反時計回りに半周ほど登ったところで京大地震観測所のゲートがあり身支度を整え、ゲートから約800mにある本館を外から拝見。時間は丁度10時、建物裏の斜面で立派な角を持った牡鹿に出会う。

観測所を辞し左横の道を登り10時17分古墳へ、阿武山古墳は盛土がなく尾根の先端部に溝をめぐる墓域としている。

棺には60歳前後の男性人骨がほぼ完全に残り錦の衣服を纏っていた。

被葬者は藤原鎌足とする見方が有力。

山頂途中の展望所からは西側手前に箕面方面の山々その奥に六甲山系、左に転じると大阪市街から泉州方面が展望される。

10時50分山頂到着恒例の集合写真を撮る。



近年安威川ダム公園が整備されつつあり新しい道標が立っている。

11時過ぎ下山開始、地震観測所の横を過ぎたあたりからGPSで大和地区の新興住宅街への取り付け道路を探すが見つからず結果悪路を安威の登山口に下山、時間は12時。

ハニワ工場公園へは安威川の左岸に出なければならぬが橋がない。

歩くこと20分ようやく是推橋を渡り一路東へ、さらに25分歩いたところで塚原東公園があり子供のキャッチボールを横目にベンチで昼食とする。

13時15分バス通りさらに東へ進み公園施設の茅葺屋根を教えてもらい到着。

正式名称は「史跡今城塚（いましろつか）古墳附新池

埴輪製作遺跡」で丘陵一帯約3万㎡に広がる日本最古・最大級のハニワ工場であったとのこと。

登り窯の復元・18号窯を当時のまま展示したドームを上がると、高さ約7mの2棟の茅葺工房が復元されており見どころ十分。

思い思いに見学し、次は今城塚古墳に行く予定であったが、ここまでかなり遠回りしていて時間が過ぎてい

るのと、風の冷たさが身に染みるのとで、先を割愛することにして上土室バス停へ。

幸いJR摂津富田行きが14時25分にあり乗車。

全員JR摂津富田駅から阪急富田駅まで歩き予定より早い帰宅となった。

生憎真冬を思わせる冷たい日ではあったが、充実した1日を過ごすことができた。（下川 博司 記）

釣りクラブ

7月28日に中村正博、加藤順三、調子均の3名で今期初の半夜釣りに参加しました。東舞鶴の何時もの遊漁船で猛暑の午後3時に出船、午後11迄の釣行となりました。日が暮れると猛暑も一段落、涼しい海風の中、この時期としてはかなりしのぎやすくなりました。メインターゲットの剣先イカ以外にも真鯛、真鯿、連子鯛等々とのやりとりを楽しみました。

（調子 均 記）



※写真はイカ部門竿頭の中村さんの釣果です。

◆クラブ活動報告 (つづき)

カラオケクラブ

12月例会を16日(土)16時より紬にて開催。12名ものカラオケ通が集まりました。いつもトップ石黒さんよりスタート、クリスマスソング、谷村新司をメインにリクエスト。久々参加の内山さんダニーボーイを熱唱、常連の吉井さんザザン、A KB 爆唱。歌姫分部(浮村)さん流石に上手い。時間延長版もアット言う間に過ぎ、テーマソング青春時代を熱唱し散会となりました。

参加者: (順不同、敬称略)

吉井 忠彦 内山 正克 山尾 泰生

大崎拓司 中村 正博 石黒 英憲 分部 妙子

他に特別参加者4名

(小川 枢幸 記)



ゴルフクラブ

2023/10/20(金)第14回堀場製作所OB会ゴルフコンペが大津カントリークラブ西コースで開催されました。当日は15時過ぎからの雨の予想が当たり、後の組は少し降られましたが全員怪我等もなく無事終了。簡単な食事と合わせて成績発表です。

今回不参加ながら毛利さんより「ステージ賞」、小菅さんより「参加賞ゴルフボール」を頂きました。

結果 優勝宇野さん、準優勝柳田さん、三位臼井さんと沢山の商品をゲット 次回は2024年4月に開催する事が決まり賑やかなうちにお開きとなりました。

さてここから事件が発生です。な何と成績順位が間違っていたのでした。帰宅後、スコアを再チェックした所、ハンデが±逆に計算されての順位表でした。何人かの参加者からご指摘もありました(現地で気付けなかった事が残念です)。

三好ゴルフクラブ部長が翌日ゴルフ場へ行かれ、話し合いの結果、正しく訂正された順位表の受け取り既に各人に渡っている商品はそのまま。新たに発生する差額分についてはゴルフ場が支払うという事で解決しました。改めて新たな優勝は臼井さん、準優勝向原さん、三位中村まり子さんに決定しました。ちなみに今回ラッキーにもそのまま授与された方々、次回15回大会に協賛を考えています(皆さん了解済です)。

今回の件、参加者の皆さんに大変ご迷惑お掛けしました事深くお詫び申し上げます。色々とありましたが次回も多数の参加お願い致します。

参加者: (順不同、敬称略)

臼井 誠次 向原 和秀 中村まり子 倉原 政治

上山 忠洋 石田 耕三 永井 博 中村 勝美

宇野 久二男 大西 敏和 米田 篤司 内山 正克

柳田 祥男 河合 治男 佐々木 一訓 中村 正博

小菅 博之 山田 毅 三好 則夫 杉山 頼道

幹事: 小菅 宇野

(三好 則夫 記)



ボウリングクラブ

12月例会は、久々に毛利選手が好成績でした。腰痛が治まり、ニューボールが指に合ってきたので、ハンデ回復を目指しています。2位は赤丸上昇中（言い方が古い？）の中村勝美さん、BB賞はハンデが減った田中光子さんでした。

順位	氏名	Net HD
優勝	毛利隆文	634 27
2位	中村勝美	568 26
3位	山田毅	554 32
4位	中岸プロ	553 3
5位	平松尚武	553 -4
6位	長澤穰	529 6
7位	鈴鹿周正	528 44
8位	小林正和	522 23
9位	芦谷恭通	512 34
10位	田中光子	507 62
11位	永田真寿夫	500 37



11月例会は鈴鹿周正さんが見事初優勝。9月入会から着実に成績をアップしてきました。亀岡ボウルでの毎週のボウリング教室の成果です。久々出場の江頭美貴子さんがグロスアベ156で堂々の2位です。9月はグロス583で優勝の中村勝美さんはHDが厳しく今回はBB賞でした。HDは過去15ゲームの平均から180点を基準に算出しています。グロスでの平均的なアベレージは150前後です。

堀場製作所OB会オープンボウリングカップ結果

順位	氏名	Net	HD
優勝	鈴鹿周正	647	66
2位	江頭美貴子	601	44
3位	山田毅	568	33
4位	毛利隆文	557	25
5位	鳥島義則	555	31
6位	中岸プロ	555	1
7位	小林正和	554	20
8位	長澤穰	543	11
9位	田中光子	540	64
10位	平松尚武	518	-9
12位	中村勝美	504	19
13位	永田真寿夫	497	34



(毛利 隆文 記)



◆2023年会社ニュース ピックアップ◆

堀場エステック、福知山市に新たな生産工場を建設

HORIBA グループ半導体事業の主力製品である、マスフローコントローラーや薬液濃度モニターなどを生産する新工場を京都府福知山市に建設（2024 年 7 月に着工、2026 年 1 月に竣工予定）。

約 60%の世界シェアを持つマスフローコントローラーのリーディングカンパニーとして、この度の新工場建設に至りました。新工場には、HORIBA グループ過去最大の投資（約 170 億円）を通じて、最新設備により自動化・効率化を促進する量産技術の基幹工場として、幅広い用途に応用できる広大な生産エリアを備えます。また、隣接する研究開発拠点「京都福知山テクノロジーセンター」との連携により、先端技術を早期実装するシナジーにも取り組みます。



完成イメージ図

京都大学と堀場製作所が包括連携協定を締結

両者には、堀場製作所の創業期から産学連携や技術の社会実装において深い縁（えにし）があり、科学技術や人材育成に対する深い共感から、2023 年 10 月 1 日に本包括連携協定の締結に至りました。長期的視野に立った将来の分析・計測・制御技術に繋がる研究シーズの共創に取り組みます。堀場製作所は、本包括連携協定において共同研究テーマを「HONMAMON(ほんまもん) 共創研究」として公募することによって新たな分析・計測技術の発掘を行うとともに、創業以来「はかる」技術で培った知見から次世代技術の創出に繋がる“ほんまもん”の基礎研究を目利きし、堀場製作所が展開する世界 29 の国と地域に広がる研究開発拠点と研究設備を活用した支援を行い、次世代の分析・計測技術の創出と社会実装をめざします。



(左)ホリさん、(右)京都大学 総長 湊 長博 様

世界に挑む HORIBA アスリート社員(アーチェリー)

世界を舞台に活躍するアスリート社員 林 勇気 (はやし ゆうき)選手と安久 詩乃(あぐ うたの)選手。2023 年は全日本、実業団、国体等で数多くの優勝、入賞を達成。二人にとって成長を感じる年となりました。2024 年もさらなる飛躍に向けてチャレンジを続けていく両選手の応援をお願いします！

※2023 年の主な活躍は OB 会ホームページに掲載。



◆OB会だより

ホームページの紹介

堀場製作所 OB 会のホームページでは、総会、幹事会、ボランティア活動、キャリア活動、クラブ活動をはじめ、各種行事の案内や活動報告等を掲載しています。

堀場製作所OB会

HORIBA OB members

堀場製作所OB会のホームページです。ボランティア活動やクラブ活動などを行っています。



◆ホームページアドレス <http://horiba-ob.com>

※「堀場製作所」「OB」で検索ください。

寄稿について

会報に掲載する寄稿文を募集しています。テーマは特に決めていません。

◎旅行の感想

◎地域での活動

◎地域 の名所・旧跡の紹介

◎地域の祭り

など、身近なテーマを気軽に寄稿願ひ致します。

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合、おおむね下記の文字数でお願い致します。

◆会報へ寄稿文 150文字以内

◆ホームページへの活動報告 800文字以内

◆写真は必ず1～2枚添付ください。

新入会員紹介

第27期中に入会された方々 (敬称略)

三輪 清和、大石 誠、ナバトバーガー・バイン・ナリア、櫻木 史郎、中川 賢亮、加藤 保英、松村 年將、米田 有利、岩本 弘和、李 虎、水田 雅夫、山尾 泰生

古希紹介

第27期中に古希を迎えられた方々 (敬称略)

右近 寿一郎、松本 浩一、衣斐 寛之、米田 篤司、鈴木 修、松尾 俊一、高松 修司、山口 道弘

掲載項目

◎堀場製作所 OB 会について

◎各種行事

◎クラブ活動

◎会報 (発行済)

◎HOVC

・ボランティア活動

・キャリア活動

※HOVC とは下記の略称です。

Horiba OB Venture & Volunteer Carrier Club

より魅力あるホームページに育てるために、会員からのご意見、ご提案をお寄せください。

◆堀場 OB 会メールアドレス horiba.ob@gmail.com

寄稿は10月末、4月末を目途に提出願ひします。

会報は年2回発行します。

◆著作権について

・書籍から引用の時は出典を明記してください。

(発行元、書籍名、著者)

・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得てください。

◆活動報告は行事終了後、直ちに報告願ひします。

◆投稿者には、ささやかながら図書カード1,000円分を進呈させていただきます。

◆送付先 会報事務局編集責任者 沢本 昌順

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所 OB 会 会報事務局宛

◆OB会だより (つづき)

訃報

第27期中に亡くなられた方々

草鹿 悌二 様(享年86歳)、村田 敏幸 様(享年75歳)、永瀬 禎一 様(享年88歳)、
多根井 文男 様(享年86歳)、大志万 継影 様(享年88歳)、谷口 義晴 様(享年80歳)
謹んでお悔やみ申し上げます。

年間行事計画について

OB会の年間行事計画については、ホームページに「年間行事予定表」を公開しています。会員の皆様に参加いただける行事を紹介します。

●鴨川を美しくする会

- ・ 鴨川クリーンハイク (年間5～6回の予定)
- ・ 鴨川茶店 (4月予定)
- ・ 鴨川納涼 (8月予定)

●工房学習支援 (年間：7～8回の予定)

●研修旅行 (3月予定)

●春の懇親会 (4月予定)

●夏の懇親会 (8月予定)

●レジャー例会 (4月、6月、11月の予定)

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメール等にて紹介させていただきます。奮って参加いただくようお願い致します。行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せください。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

OB会入会手続きについて

堀場製作所OB会への入会手続きは、下記手順でお願い致します。

- ①入会希望者は「入会登録書」「入会のお誘い」を堀場製作所OB会ホームページよりダウンロード
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付

または郵送にてOB会幹事に提出
→幹事会審査を経て、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付させていただきます。
③入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。
以上で手続きは完了です。不明点等がございましたら、代表幹事・幹事へお問い合わせください。

OB会員の皆様へ

OB会員の皆様の周りで、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。堀場製作所OB会ホームページトップページの「OB会入会手続

き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせください。

◆編集後記

まずは手軽なボランティアからとお考えのOB会員の皆さまへ。京都まなびの街生き方探求館(館長ホリさん)で実施されている「京都モノづくりの殿堂・工房学習」の支援員[京モノレンジャー]をご紹介します。「工房学習」では「世界に一つの温度計(堀場製作所)」作りを支援します。また、「殿堂学習」では京都の主要企業17社のモノ、ヒト、歴史を子供たちと一緒に学ぶことができます。いずれも事前の日程調整のうえ、都合の良い日時に京モノレンジャーとしてボランティアに参加できます。京モノレンジャーとして活動

するには、4月に実施されるマスター講習会に参加し支援に必要な知識を得ることが必要です。次代を担う子供たちへの取り組みに関心がある方は、2月末ころまでに、最寄りのOB会幹事へお問い合わせください。その他のボランティア活動の例

- ◎京都マラソン
- ◎鴨川クリーンハイク
- ◎オオハナミズキンバイ駆除大作戦
- ◎祇園祭ごみゼロ大作戦

(沢本 昌順 記)